



審判副委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (知的)** 会場 **トリムパークかなづ**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

**B** コート 第 **1** 試合

1回戦(第1試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	<b>25</b> — <b>13</b>	}	<b>0</b> <b>宮城県</b>
<b>和歌山県</b> <b>2</b>		<b>25</b> — <b>11</b>		都道府県、指定都市名
都道府県、指定都市名		—		都道府県、指定都市名

### 【審判員】

主審: 倉野 禎人 副審: 坂井 孝行  
 記録員: 端 健太郎 A・S: 谷口 楓 A・S: 菅原 さくら

### 【戦評】

記載者: 八田 宏

試合開始、宮城が9番的場のサーブポイントで先取したが、和歌山は  
 1番橋本のアタックや2番谷口優のサーブが決まりリードを取り返した。  
 その後は両チームともサーブなどで得点を重ねたが、和歌山が終始リード  
 して1番橋本のアタックなどで得点を重ね、第1セットは25-13で和歌山が  
 先取した。  
 第2セットも和歌山が2番谷口優や1番橋本の連続サーブポイントなどで  
 終始リードし、宮城も1番菅原のサーブポイントなどで健闘したが、  
 25-11で和歌山が取り、セットカウント2-0で和歌山が勝利した。